



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワットマン

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一郷

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理総務グループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	753	12.6	21	—	23	—	13	—
27年3月期第1四半期	668	△2.2	△9	—	△6	—	△8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	1.22	—
27年3月期第1四半期	△0.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,639	2,169	82.2
27年3月期	2,668	2,168	81.3

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 2,169百万円 27年3月期 2,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,570	15.3	25	—	32	—	25	—	2.28
通期	3,190	10.1	130	197.3	140	145.6	115	213.8	10.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	11,368,541 株	27年3月期	11,368,541 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	432,407 株	27年3月期	431,447 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	10,936,524 株	27年3月期1Q	10,937,277 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	5
4. 四半期財務諸表 .....	6
(1) 四半期貸借対照表 .....	6
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8
5. 補足情報 .....	9
(1) 仕入及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方、個人消費については、消費の基盤となる個人所得の水準は小幅な改善に留まる等、先行きは依然として不透明な状況となりました。

このような状況のもと、当社は当事業年度を事業拡大期間と位置付けており、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめてまいりました。

また新ブランド「Super Recycle Shop WATTMANN」（スーパーリサイクルショップ ワットマン）のもと、前期に引続き、買取・販売する商品種類の拡充等による更なるお客様サービスの向上、コストダウンによる経営効率の向上、及び新規出店等による企業成長を目指しております。

営業政策面では将来の成長に向けて、売筋ジャンルの強化、積極的な買取と査定精緻化を進め、良品在庫の増大に努めてまいりました。また、早期売価変更と売場への継続的な商品供給を行い商品鮮度を維持するとともに、お客様目線の売場づくりを進め、お客様の購買意欲を高め、売上高の増加と売上総利益額・率の向上に努めてまいりました。

店舗政策面では、当第1四半期累計期間において、朝比奈事業所を改装しリニューアルオープンいたしました。当第1四半期末時点の店舗数は前期末から引続き15事業所35店舗となっております。

当第1四半期累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ84百万円（12.6%）増収の7億53百万円となりました。既存店の売上は業績回復により、前年同四半期と比べ41百万円（6.8%）増収の6億48百万円、開閉店の売上も新店業績が伸びた事により42百万円（69.2%）増収の1億4百万円となり全店ベースで増収となったものです。

商品カテゴリー別の売上高では、既存店の業績回復と新店の寄与により電化製品等が前年同四半期と比べ27百万円（22.8%）増収の1億48百万円、服飾等が39百万円（16.6%）増収の2億74百万円、パッケージメディア（本・CD/DVD・ゲーム）が3百万円（1.4%）増収の2億44百万円、その他が14百万円（20.1%）増収の85百万円となりました。

売上総利益は、既存店は売上増加により、前年同四半期と比べ21百万円（5.0%）増益の4億59百万円となりました。開閉店は新店の売上高が増加したため、前年同四半期と比べ28百万円（68.2%）増益の69百万円となりました。その結果、全社で50百万円（10.4%）増益の5億29百万円となりました。一方売上総利益率は70.3%と前年同四半期と比べ1.4ポイント減少いたしました。

商品カテゴリー別の売上総利益は、電化製品等が前年同四半期と比べ16百万円（19.8%）増益の99百万円、服飾等が18百万円（10.2%）増益の2億2百万円、パッケージメディアが3百万円（2.3%）増益の1億58百万円、その他が11百万円（19.6%）増益の68百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、広告宣伝費の圧縮等経費の削減に取り組みましたが、新店舗開店に伴い消耗品費等及び、人件費、地代家賃、支払手数料等が増加いたしました。この結果、販売費及び一般管理費は既存店で前年同四半期と比べ9百万円（2.3%）増加の4億19百万円、開閉店で10百万円（13.0%）増加の89百万円、全社合計で19百万円（4.0%）増加の5億8百万円となりました。

この様に既存店は前年同四半期と比べ12百万円（44.1%）増益の営業利益40百万円を達成し、新店も業績が伸びたため、開閉店では18百万円増益の営業損失19百万円となり、全社では30百万円増益の営業利益21百万円となりました。経常損益は前年同四半期と比べ30百万円増益の経常利益23百万円となりました。

四半期純利益は当第1四半期の税金費用が7百万円（407.8%）増加し、前年同四半期と比べ21百万円回復し13百万円となりました。

なお、平成26年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存店、その他事業所を開閉店としております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて95百万円減少し、11億12百万円となりました。これは主に現金及び預金が87百万円減少、売掛金が4百万円減少、その他流動資産が11百万円減少し、商品が8百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べて65百万円増加し、15億26百万円となりました。これは投資有価証券が36百万円、敷金及び保証金が9百万円増加、有形固定資産が18百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ29百万円減少し、26億39百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて21百万円減少し、2億89百万円となりました。これは主に、未払法人税等が8百万円、賞与引当金が7百万円、その他流動負債が5百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて8百万円減少し、1億79百万円となりました。これは主に、長期借入金14百万円減少し、退職給付引当金が2百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ30百万円減少し、4億69百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ0.6百万円増加し、21億69百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が9百万円増加し、利益剰余金が8百万円減少したことによります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月15日付の「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	641,644	553,933
売掛金	33,698	29,100
商品	385,563	393,954
その他	146,451	135,123
流動資産合計	1,207,358	1,112,112
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	366,174	353,365
土地	382,457	382,457
その他(純額)	87,960	119,302
有形固定資産合計	836,592	855,124
無形固定資産		
	24,114	25,819
投資その他の資産		
投資有価証券	65,266	101,976
敷金及び保証金	504,661	514,337
その他	30,814	29,710
投資その他の資産合計	600,742	646,025
固定資産合計	1,461,449	1,526,968
資産合計	2,668,807	2,639,080
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,716	7,493
1年内返済予定の長期借入金	58,700	58,700
未払法人税等	20,981	12,449
賞与引当金	12,000	4,500
その他	211,939	206,831
流動負債合計	311,337	289,974
固定負債		
長期借入金	80,240	65,565
退職給付引当金	12,271	15,007
その他	96,385	99,333
固定負債合計	188,896	179,905
負債合計	500,234	469,880
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	132,761	124,317
自己株式	△57,379	△57,512
株主資本合計	2,257,116	2,248,538
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,183	16,387
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
評価・換算差額等合計	△88,542	△79,338
純資産合計	2,168,573	2,169,200
負債純資産合計	2,668,807	2,639,080



## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	668,878	753,106
売上原価	189,739	223,902
売上総利益	479,139	529,204
販売費及び一般管理費	488,516	508,190
営業利益又は営業損失(△)	△9,377	21,013
営業外収益		
受取利息	1,137	1,002
受取配当金	605	465
受取手数料	1,680	1,655
雑収入	1,437	1,186
営業外収益合計	4,860	4,310
営業外費用		
支払利息	852	582
雑損失	1,094	1,094
その他	56	48
営業外費用合計	2,003	1,725
経常利益又は経常損失(△)	△6,519	23,598
特別損失		
固定資産除売却損	-	519
特別損失合計	-	519
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△6,519	23,078
法人税等	1,900	9,649
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,419	13,429

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

第1四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

当社は単一のセグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

### (1) 仕入及び販売の状況

#### 1. 商品仕入実績

当第1四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	50,606	21.8	114.0
	服飾等	81,527	35.1	152.4
	パッケージメディア	82,341	35.4	96.0
	その他	17,819	7.7	110.7
合計		232,294	100.0	116.3

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

#### 2. 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	148,271	19.7	122.8
	服飾等	274,762	36.5	116.6
	パッケージメディア	244,671	32.5	101.4
	その他	85,401	11.3	120.1
合計		753,106	100.0	112.6

- (注) 1 金額は販売価格によっております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。